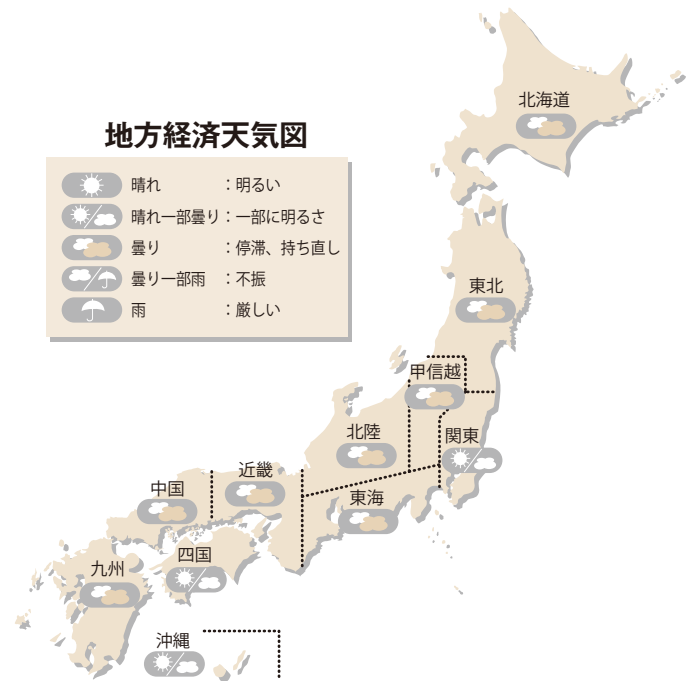


国内・九州経済の動き

各地の経済情勢概況 持ち直しの動きが続いている

北海道	公共工事は減少傾向。地震の影響により、生産活動、観光はやや弱含み。
東北	設備投資、輸出は持ち直し。住宅建築は弱含み。
甲信越	個人消費、設備投資は持ち直し。輸出は弱含み。
関東	個人消費、輸出は持ち直し。
北陸	個人消費、設備投資は緩やかな持ち直し。
東海、近畿	輸出は持ち直し。生産活動は回復に向けた動き。
中国	設備投資は持ち直し。輸出は足許増加。住宅建築は弱含み。
四国	設備投資は持ち直し。公共工事は足許増加。
九州	輸出は回復に向けた動き。生産活動は持ち直し。住宅建築はやや弱含み。
沖縄	個人消費は好調。観光は回復。



九州各地の経済状況 持ち直し

景況判断		住宅建築が弱含んだものの、輸出が回復に向けた動き、生産活動が持ち直すなど、持ち直し。先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。
個人消費		飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加減するなど、概ね横這い。
住宅建築		分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、弱含み。
設備投資		製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。
公共工事		国、県、市町村が増加するなど、足許増加。
輸出		繊維製品、事務用機器が減少したものの、電気機器、輸送用機器が増加するなど、回復に向けた動き。
生産活動		食料品、輸送機械が減少したものの、木材・木製品、鉄鋼が増加するなど、持ち直し。
観光		観光地や温泉地の入込客が増加するなど、上向き。
雇用情勢		新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

(全国地方銀行協会「地方経済天気図」2018年12月より)